

【令和5年度 授業改善推進プラン】

板橋区立北野小学校

【外国語】

■児童の状況	中学年 ・3・4年生は、どの活動においても非常に意欲的に取り組んでいる。ビンゴやポイントゲームなどのゲーム活動は、全体的に意欲的に取り組んでいる。振り返りを読むと、楽しんでいる様子が伝わる。 高学年 ・自分の意見をペアと伝え合う活動は、概ね意欲的に取り組んでいる。5年生は、四線に応じてアルファベットを書くことが苦手な児童が数名見られる。6年生は、交流活動に意欲的でジェスチャーなどを用いながら、自分の伝えたいことを伝えることができている。
■指導についての課題	中学年 ・苦手意識を感じている児童の意欲を高めることが難しい。 高学年 ・全体の前で発表したり、英文を読み取ったり、自分で文章を考えたりすることに課題が見られる。 ・知識技能の差が大きい。イラストと読み方を何度も練習しても、スペルだけでは読み取れない。得意な子にとっては、すぐに終わってしまうのでモチベーションが上がらない。
■授業改善に向けての具体的な方策	中学年 ・ゲームを取り入れながらも、チャンツや会話、歌、読み聞かせを通して英語と多くふれあい、楽しめるような授業づくりをする。 高学年 ・苦手な児童に対しては、アルファベットの音読みが定着するよう、工夫していく。 ・文章を考える際は、定型文の反復を行う。